

第3回 日中韓協力ダイアログ

CJK (China-Japan-Korea) Cooperation Dialogue
「日中韓パートナーシップの進化と発展を目指して」
～情報と経験の共有から相互信頼の醸成へ～

東アジアのコミュニティ意識の醸成と地域の平和と繁栄に貢献することを目的に、2014年より毎年議論を重ねてきた日中韓協力ダイアログ。各国の政策やビジネスに影響力のある有識者たちが、FTAも活用しながら持続的な成長戦略の実現に向けて3か国の協力について議論します。3か国の協力がどのような果実を生み出すのか、専門家のヴィヴィッドな話し合いが皆様に新しい東アジアの将来像をお示しします。3か国経済関係の全体像がよくわかり、今後のビジネスの展開にも役立ちます。

2016年10月21日(金)
9:00~12:00 (受付8:30~)

国際文化会館(岩崎小彌太記念ホール)
東京都港区六本木5-11-16



【プログラム】

9:00- 9:10 開会挨拶：日下 一正 国際経済交流財団会長

陳 文 敬 CHEN Wenjing 元中国商務部国際貿易経済合作研究院副院長

孔 魯 明 GONG Ro-Myung East Asia Foundation 理事長

9:10- 9:30 基調講演：上田 隆之 前経済産業審議官

9:30-10:30 プレゼンテーション

〔経済〕竹本 直一 衆議院議員

高 海 紅 GAO Haihong

中国社会科学院国際金融研究センター主任

安 忠 榮 AHN Choong-Yong

韓国コーポレートパートナーシップ委員会委員長

〔環境〕松下 和夫 京都大学名誉教授

張 海 濱 ZHANG Haibin

北京大学国際関係学院教授

金 相 涙 KIM Sang-Hyup

KAIST (韓国科学技術院) 客員教授

10:50-11:50 パネルディスカッション・会場からの質疑応答

11:50-12:00 スペシャルスピーチ：福田 康夫 元内閣総理大臣

【お申込み】

申込みフォーム http://web.apollon.nta.co.jp/cjk_symposium/ よりお願ひいたします。

定員100名様になり次第、締め切らせて頂きます。



主催／国際経済交流財団 China Foreign Affairs University East Asia Foundation
後援／経済広報センター 国際文化会館 日本貿易振興機構(JETRO)

【お問い合わせ】TEL 03-5565-4824 一般財団法人国際経済交流財団

第3回 日中韓協力ダイアログ

「日中韓パートナーシップの深化と発展を目指して」 ～情報と経験の共有から相互信頼への醸成へ～

世界経済の停滞が懸念される中、アジアは唯一の成長機会に恵まれた地域である。世界がその潜在成長力に注目しており、今や米国も「アジア重視」に外交戦略を転換させつつある。そのアジアをより輝かせ、世界経済の成長と安定に大きく貢献させるためにはどうしたらよいのか。アジアの主要なリーダーであり、また企業のビジネス活動においてもサプライチェーンの重要な部分を担う日本・中国・韓国が相互理解の下に安定したパートナーシップを築くこと、これが第一ではないか。

「アジアン・パラドックス」といわれるよう経済は相互依存が進んでいるものの、政治は歴史認識や領土問題などの意見・立場の相違から緊張を生んでいる。この図式を変えることこそが成功の鍵を握るのであり、そのためには、日中韓3か国が多く分野において「かけがいのないパートナー」、「お互いの経験をシェアすることにより発展できる友人」であることを再認識することが大切であると考える。

このような観点から当財団は、2014年に中国の外交学院と韓国の東アジア財団とともに有識者からなる賢人グループを立ち上げた。そして年次会合を開催し、持続的な経済成長の制約要因となる、構造問題や大気・水質などの環境汚染といった短期的に解決が必要な課題、3か国共通の少子高齢化といった中長期的な課題、そしてそれらの解決策、例えばFTAの活用による国内制度の改革などについて議論し学び合ってきた。

この間、地政学的变化や中国経済の減速により3か国の政治・経済は絡み合いながら相互に影響を及ぼし合ってきている。当シンポジウムでは、日本・中国・韓国が「経済」「環境」の分野においてどのような成長戦略を立て、どう取り組もうとしているのかを紹介しながらお互いに学び合い、また3か国による解決に向けた協力の可能性を探る。